

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添

なし

応募概要	分野	演劇	種目	人形劇
	応募区分	一般区分		
	複数応募の有無	無	応募総企画数	
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※			

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要	ふりがな	かぶしきがいしやにんぎょうげきだんmuすびざ		
	制作団体名	株式会社人形劇団むすび座		
	代表者職・氏名	代表取締役 大野正雄		団体ウェブサイトURL <a href="https://www.musubiza.co.jp/">https://www.musubiza.co.jp/</a>
	制作団体所在地	〒 459-8001	最寄駅(バス停)	名鉄 名和駅
	愛知県名古屋市緑区大高町字川添86			
	制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です		
	ふりがな			
	公演団体名			
	代表者職・氏名			団体ウェブサイトURL
	公演団体所在地	〒	最寄駅(バス停)	
制作団体 設立年月		昭和42年 1月		
制作団体組織		役職員	団体構成員及び加入条件等	
事務体制 事務(制作)専任担当者の有無		代表取締役:大野正雄 取締役:永草友子・長田明子 監査役:垣内裕子	劇団員37名(制作部8、総務部4、演技部25) 加入の条件:劇団の実施する入団審査に合格すること	
経理処理等の監査担当の有無		有	経理担当者	吉田克司
本応募にかかる連絡先		メールアドレス <a href="mailto:puppet@musubiza.co.jp">puppet@musubiza.co.jp</a>	電話番号	0526232374

制作団体の実績	<p><b>制作団体沿革・主な受賞歴</b></p> <p>昭和42年 東海地方で初のプロの人形劇団として、人形劇団むすび座創立。その後一貫して、幼稚園・保育園・小学校等、子どもが生活する場所での公演を中心に活動を続ける。</p> <p>昭和49年 法人格を取得し株式会社人形劇団むすび座設立。</p> <p>昭和63年「世界人形劇フェスティバル'88 in名古屋」(国内外より延10万人が参加)の事務局として中心的な役割を果たす。</p> <p>昭和58年より海外公演を開始。平成28・30年は韓国に招聘され、『ピノキオ』でソウル芸術の殿堂他で8ヶ所30公演を実施。</p> <p><b>&lt;受賞歴&gt;</b></p> <p>昭和63年度 名古屋市芸術奨励賞 平成20年度 愛知県芸術文化選奨文化賞 平成29年度 第33回芸術創造賞(名古屋市文化振興事業団) 平成26年度 児童福祉文化賞『ピノキオ』 令和4年度 児童福祉文化賞『チトみどりのゆびをもつ少年』 令和6年度 第1回日本みどりのゆび舞台芸術賞</p> <p><b>&lt;文化庁 現・舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動)&gt;採択実績</b></p> <p>平成30年度『オーケストラの生演奏で贈る-音楽人形劇-ピノキオ』 令和元年度『オズのまほうつかい』 令和3年度『チトみどりのゆびをもつ少年』 令和6年度『小さな山神スズナ姫』 令和7年度『ニルスのふしぎな旅』</p> <p><b>&lt;厚生労働省社会保障審議会 特別推薦作品&gt;(平成26年以降)</b></p> <p>平成26年『ピノキオ』『父と暮せば』 令和元年『オズのまほうつかい』『かくれ山の大冒険』 令和3年『チトみどりのゆびをもつ少年』</p>
	<p><b>学校等における公演実績</b></p> <p>昭和44年より現在まで途切れなく小学校公演を実施。その累計公演数は6,186回に上る。</p> <p>令和2年度:620公演(観客数:70,000名) 小学校公演:48／幼稚園・保育園等公演:507／その他公文協・自主公演等:65 令和3年度:804公演(観客数:125,000名) 小学校公演:39／幼稚園・保育園等公演:636／その他公文協・自主公演等:129 令和4年度:1,037公演(観客数:146,000名) 小学校公演:120／幼稚園・保育園等公演:742／その他公文協・自主公演等:175 令和5年度:959公演(観客数:130,000名) 小学校公演:92／幼稚園・保育園等公演:659／その他公文協・自主公演等:208 令和6年度:993公演(観客数:124,000名) 小学校公演:87／幼稚園・保育園等公演:730／その他公文協・自主公演等:176</p>
	<p><b>特別支援学校等における公演実績</b></p> <p><b>&lt;本事業での実施&gt;</b> * 平成22年度～令和元年度 計9校 (『ピノキオ』『アラビアンナイト』等) * 直近5年の公演実績 令和2年度 高知若草特別支援学校、宇都宮大学共同教育学部付属特別支援学校 令和4年度 青森県立青森聾学校、三重県立養護学校北勢きらら学園、 金沢大学人間社会学域学校教育学類附属特別支援学校 令和6年度 北海道拓北養護学校、岩手県立盛岡みたけ養護学校</p> <p><b>&lt;本事業以外での実施&gt;</b> 平成13～16年度連続 愛知県立港養護学校 平成16～27年度連続 三重県立養護学校北勢きらら学園 平成16年度 愛知県立三好養護・安城養護・豊田市立豊田養護学校 岐阜県立中濃特別支援・飛騨特別支援学校 令和5年度 羽島市発達支援センター</p>

参考資料	申請する演目のWEB公開資料	有
	※公開資料有の場合URL	<a href="https://youtu.be/qSGLv2z2bSE">https://youtu.be/qSGLv2z2bSE</a>
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	ID: なし PW: なし

別添	あり	【公演団体名】 株式会社人形劇団むすび座】		
対象	小学生(低学年)	<input type="radio"/>	小学生(中学年)	<input type="radio"/>
	小学生(高学年)	<input type="radio"/>	中学生	-
企画名	子どもたちに“共に生きる心”を届ける人形劇「ニ尔斯のふしぎな旅」			
企画のねらい	<p>「ニ尔斯のふしぎな旅」のテーマのひとつは「<b>他者と共に生きること</b>」です。本作では自然や命の尊さを鮮やかに表現しながら、自分勝手な生き方によって周囲から孤立していた主人公ニ尔斯が、他者との心のつながりを得て<b>他者を認め、自分自身も自然やほかの生き物たちと同じく尊重されるべき存在である</b>と気付いていく過程に焦点を当て描いています。</p> <p>様々な成育環境・個性をもった子どもが集まる学校教育の場では、<b>ちがいを受け入れる力</b>=多様性への理解と受容は重要な課題です。また、他者との関係づくりに悩む子どもたちも多く、不登校の子どもの数は増え続け、いじめ問題も深刻化するばかりです。全校児童が集う空間で本作を鑑賞することにより、子どもたち自身が現実で直面している課題や問題を解決する契機とします。</p>			
	本公演・ワークショップの内容	<p><b>ものがたり</b></p> <p>ニ尔斯は、学校の先生も友達も両親さえも好きではなく、他者とつながり、共感することができない子どもだった。ある日、妖精を怒らせて小人にされてしまったニ尔斯は、動物たちに追われガチョウのモルテンに飛び乗る。モルテンと一緒に空高く舞い上がったニ尔斯は、渡り鳥の群れと共に北へ向かうことになる。</p> <p>モルテンの背中に乗ってスウェーデンを旅する中でニ尔斯は「他者を認め受け入れること」、そして「仲間と共に生きること」を学び、成長していく。仲間と別れて家に帰る決心をしたニ尔斯は人間に戻る方法を知る。それは「モルテンの命を引き換える」というものだった。モルテンの命を守ろうと飛び出したニ尔斯は…。</p> <p style="text-align: center;">* * * *</p> <p><b>【演目選択理由】</b></p> <p>原作の『ニ尔斯のふしぎな旅』は、今から100年以上前にスウェーデンの地理の教科書に掲載された物語であり、自然の美しさやそこに生きる動物・人間たちの営みが描かれています。そして何より、ニ尔斯の心の成長が的確に描かれています。</p> <p><b>★他者との共生</b></p> <p>子どもたちは、同世代のニ尔斯が感じる葛藤や喜びに共感しながら、仲間との心のつながりを得て変化していくニ尔斯の成長を追体験します。その経験は「自分も周りの人々も、ひとりひとりがニ尔斯と同じく尊重されるべき存在なのだ」というメッセージとなって子どもたちの心に届きます。そして、様々な人間関係の構築や、自己有用感の向上に寄与します。</p> <p><b>★想像力を掻き立てる多彩な舞台</b></p> <p>本作に登場する鳥の人形は頭と羽根しかありません。それらを的確に動かすことによって、子どもたちは自らの頭の中でそこには無い身体(胴体)を思い描き、空を飛ぶ鳥の姿を思い起こし、本物の生き物のように感じます。自分の想像力の働きを発見することは、創り出すことの喜びにつながる貴重な体験です。</p> <p>また、1つの人形を複数人で操る文楽の技法を用いた人形操作技法により、子どもたちはチームワークの大切さを実感します。その人形操作と俳優自身のパフォーマンス(身体表現)が融合されたダイナミックな舞台は、子どもたちがテレビなどで親しんできた「人形劇」の概念を大きく覆し、舞台表現の多彩さを感じさせます。</p> <p>未来を担っていく子どもたちに「<b>他者との共生がもたらす喜び</b>」や「<b>多様性の意義</b>」を感じ伝えます。この観賞体験が子どもたちの悩みや課題に立ち向かうヒントと勇気をあたえ、誰一人取りこぼさない社会を形成していく力になることを目指し、この演目を選択しました。</p>		

児童・生徒の参加または体験の形態	<p><b>★事前ワークショップ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>想像力、創造力を駆使した自由な発想で鳥の人形を作り、人形遣いから操演技術を学びます。</li> <li>本番で登場する人形の操作技法「三人遣い」を学び、実際に体験します。複数人で協力して人形を操ることの難しさを知ることで本番を観た時の感動がより深くなります。</li> <li>(共演児童以外)事前に共演場面で流れる劇中歌のCDをお渡します。給食等の時間に流していただくことで、子どもたちは本番を想像しながら日常を過ごし、なじみのある曲が本番で流れることで、より印象深い体験となります。</li> </ul>													
	<p><b>★本番</b></p> <p>ワークショップに参加した児童が俳優たちと共に演じます。「春を祝う祭典」が開催される場面で、祭典のオープニングを飾る鳥の群れを演じます。</p> <p>共演者はワークショップで作った鳥の人形を遣って歌とダンスを披露。鑑賞者は祭典の参加者となり、拍手や手拍子で祭典を盛り上げます。</p>													
<p><b>★鑑賞後の交流 (学校のスケジュールに合わせて調整)</b></p> <p>終演後、感想や質問を聞く、人形劇の手法や舞台構造の説明など、全児童との交流の時間をもちます。そして、子どもたちの退場時に、俳優たちが人形を持ち交流しながら、子どもたち全員を見送ります。</p> <p>学校のスケジュールに合わせ、以下の交流も可能です。</p> <p>①バックステージツアー（舞台の裏側の見学） ②片付けを手伝ってもらう（高学年対象。安全に配慮して行います）</p>														
児童・生徒の参加可能人数	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">本公演</td><td>参加・体験人數目安</td><td>100名</td></tr> <tr> <td colspan="2"></td><td>鑑賞人數目安</td><td>500名</td></tr> </table>		本公演		参加・体験人數目安	100名			鑑賞人數目安	500名				
本公演		参加・体験人數目安	100名											
		鑑賞人數目安	500名											
本公演演目	<p><b>人形劇「ニ尔斯のふしぎな旅」</b></p> <p>原作:セルマ・ラーゲルレーヴ 脚色:平丸久美子 演出:関根信一(劇団フライングステージ) 人形美術:宮武史郎 舞台美術:長谷川真代 音楽・音響:ノヤママナコ(マナコ・プロジェクト) 照明:若狭慶大(Lightbox) 身体表現(振付):LONTO(ラストラーダカンパニー)</p>													
原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>公演時間 75 分</p>													
出演者	<p>こつじまさのり、和田真琴人、長谷川真代、三屋自然、高光浩一、村尾梨佳、神田沙永子</p>													
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	<p><b>吉田明子(制作):</b> 1984年入団。当団体の創立記念作品・受賞作品などを数多く制作。2017年O夫人児童青少年演劇賞受賞。日本児童・青少年演劇劇団協同組合代表理事／(一社)国際児童青少年舞台芸術協会日本センター理事／NPO法人国際人形劇連盟日本センター理事他。</p> <p><b>平丸久美子(脚色):</b> 篠原久美子として1999年日本劇作家協会優秀新人作品に選出。2000年文化庁舞台芸術創作奨励賞佳作。2010年演劇教育賞・特別賞受賞。2013年斎田喬戯曲賞他、数々の賞を受賞。各地で中高生・一般向けの「劇作ワークショップ」も実施。紛争地域の子どもたちの支援を行う(一社)ピースセルプロジェクト代表理事。</p> <p><b>関根信一(演出):</b> 演出家、劇作家、俳優。劇団フライングステージ代表(1992年～)。1997年池袋演劇祭大賞。2006年サンモールスタジオ最優秀作品賞と最優秀女優賞受賞。2009年～2012年東京都杉並区立富士見丘小学校演劇授業 卒業公演構成・演出。</p>													
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人數含む	<table border="1"> <tr> <td>出演者: 7 名</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">運搬</td><td>積載量: 2 t</td> </tr> <tr> <td>スタッフ: 2 名</td><td colspan="2" style="text-align: center;">運搬</td><td>車長: 7 m</td> </tr> <tr> <td>合計: 9 名</td><td colspan="2" style="text-align: center;">運搬</td><td>台数: 1 台</td> </tr> </table>		出演者: 7 名	運搬		積載量: 2 t	スタッフ: 2 名	運搬		車長: 7 m	合計: 9 名	運搬		台数: 1 台
出演者: 7 名	運搬		積載量: 2 t											
スタッフ: 2 名	運搬		車長: 7 m											
合計: 9 名	運搬		台数: 1 台											
本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の 目安	前日仕込	無	前日仕込所要時間		時間程度									
	到着	仕込	上演	内休憩	撤去									
	9:00	9:00～11:30 共演リハーサル 11:30-12:15	13:30～ 14:45	0分	14:50～ 16:35									
	※本公演時間の目安は、概ね2時間程度です。													
本公演 実施可能日数 目安  ※実施可能時期については、探査決定後に再度確認します(大幅な変更は認められません)。	6月	7月	8月	9月										
	19日	0日	0日	19日										
	10月	11月	12月	1月										
	10日	10日	19日	20日										
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。		計	97日										

本公演・ワークショップの内容

公演に係るビジュアルイメージ  
(舞台の規模や演出がわかる写真)

※会場条件について最低限必要な条件がある場合には、様式No.4内「会場簡易図面」を記載してください。



著作権、上演権等の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続の 要否		該当なし	該当コンテンツ名
	該当事項がある 場合	権利者名	許諾確認状況	

別添

なし

【公演団体名 株式会社人形劇団むすび座】

ワークショップのねらい	<p>★舞台では、命を吹き込まれ、まるで生きているかのように動く人形ですが、その裏には人形遣いたちの技術やチームワークが隠されてます。子どもたちが実際に人形を動かしてみることで、人形の重さを体感し、生きているように動かすことの難しさを身をもって体験します。そして「三人遣い」を体験することで、息を合わせて協働し、協力し合うことの大切さ、チームワークやコミュニケーションの重要さを実感します。</p> <p>★個々の感性で自由に人形を製作することで、発想力・想像力・創造力を育みます。</p> <p>★完成した人形を動かしてみることで、「もの言わぬモノ」に命が宿り、表情が見えてくることを発見・体験し、人形で表現する楽しさ、面白さを実感します。</p> <p>★集団で演技することにより、バランス感覚や協働・自発性・協調性・コミュニケーション等を学び、達成感、充実感を得ます。</p> <p>ワークショップを通して得たこれらの経験によって、本番の鑑賞の際、より深い興味をもって鑑賞することができます。</p>		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人數目安	100名
ワークショップの実施形態及び内容	<p>所要時間:90分～100分程度(2時限)</p> <p><b>★むすび座の「三人遣い」を体験しよう！</b></p> <p>むすび座の人形操演は、1体の人形を複数人で扱います。 今回のワークショップでは、文楽の技法を取り入れた「三人遣い」(3人で1体の人形を遣う操作技法)の操作方法や人形の材質・構造の説明を行い、実際の「三人遣い」を体験していただきます。</p> <p><b>★自分だけの人形を作って動かしてみよう！</b></p> <p><b>①人形をつくってみよう！</b></p> <p>主人公ニルスは、渡り鳥の群れと一緒に旅をします。 人形劇のプロに作り方を教わりながら、自分だけの鳥の人形を作ってみましょう。 ※材料はすべて当劇団で用意します</p> <p><b>②作った人形を動かしてみよう！</b></p> <p>作った鳥の人形を実際に動かしてみます。 そして、人形に合わせた効果的な表現方法があることを学びます。</p> <p><b>③共演シーンの練習をしよう！</b></p> <p>本番で共演するのは「春を祝う祭典が開催される場面」です。 共演者は歌とダンスで祭典のオープニングを飾る鳥の群れを演じます。 ワークショップで作った鳥の人形を使って、ダンスの振付と人形の表現方法を練習します。</p>		

その他ワークショップに関する特記事項等



←「三人遣い」体験のようす



↑ワークショップで作る鳥の人形  
【イメージ】

<子どもたちひとりひとりの状況に合わせて実施します>

配慮を必要とする児童がいる場合や、特別支援学校で実施する場合など、実施校のニーズに合わせて以下の工夫をご提案いたします。

- ①人形の素材やパーツの改良
- ②人形の動かしやすさの追及
- ③本番での共演の仕方の工夫

子どもたちひとりひとりの特性や個性に合わせたワークショップと本番の共演プログラムを実施し、子どもたちにとって実りある時間とします。

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

なし

【公演団体名 株式会社人形劇団むすび座】

記載方法等

例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。

- ・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。
- ・搬入車両が構内に入れず、搬入のための追加費用が生じてしまった。
- ・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。

上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。

任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。

詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただることになります。

なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。

(必須)

公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。

会場条件	会場の設置階の制限	条件なし	主幹引き込み電源容量		50 A以上
	舞台設置面積	間口	14 m	奥行	8 m
		高さ	6 m		
	舞台設置場所	フロア対応	条件なし	学校のステージでの対応	不可
	搬入間口の広さ	幅	1.2 m	高さ	1.8 m
	遮光の要否	7割程度必要	縦幕の要否	不要	
	ピアノの使用について	使用しない	ピアノを使用する場合の設置位置の指定	なし	
			ピアノを使用しない場合の移動の要否	不要	
	搬入車両(トラック等)の横づけ	応相談	トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離	条件なし	m以内
	搬入車両の種類	中型トラック	台数	1 台	
	搬入車両の大きさ	車幅	2.19 m	車長	6.47 m
	備考	乗用車(一部積載荷物あり)1台の駐車スペースが必要(学校駐車場でも可) 年間100校前後の小学校で公演している実績があるため、ほとんどの学校での上演に対応できます。			

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

(任意) 学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。

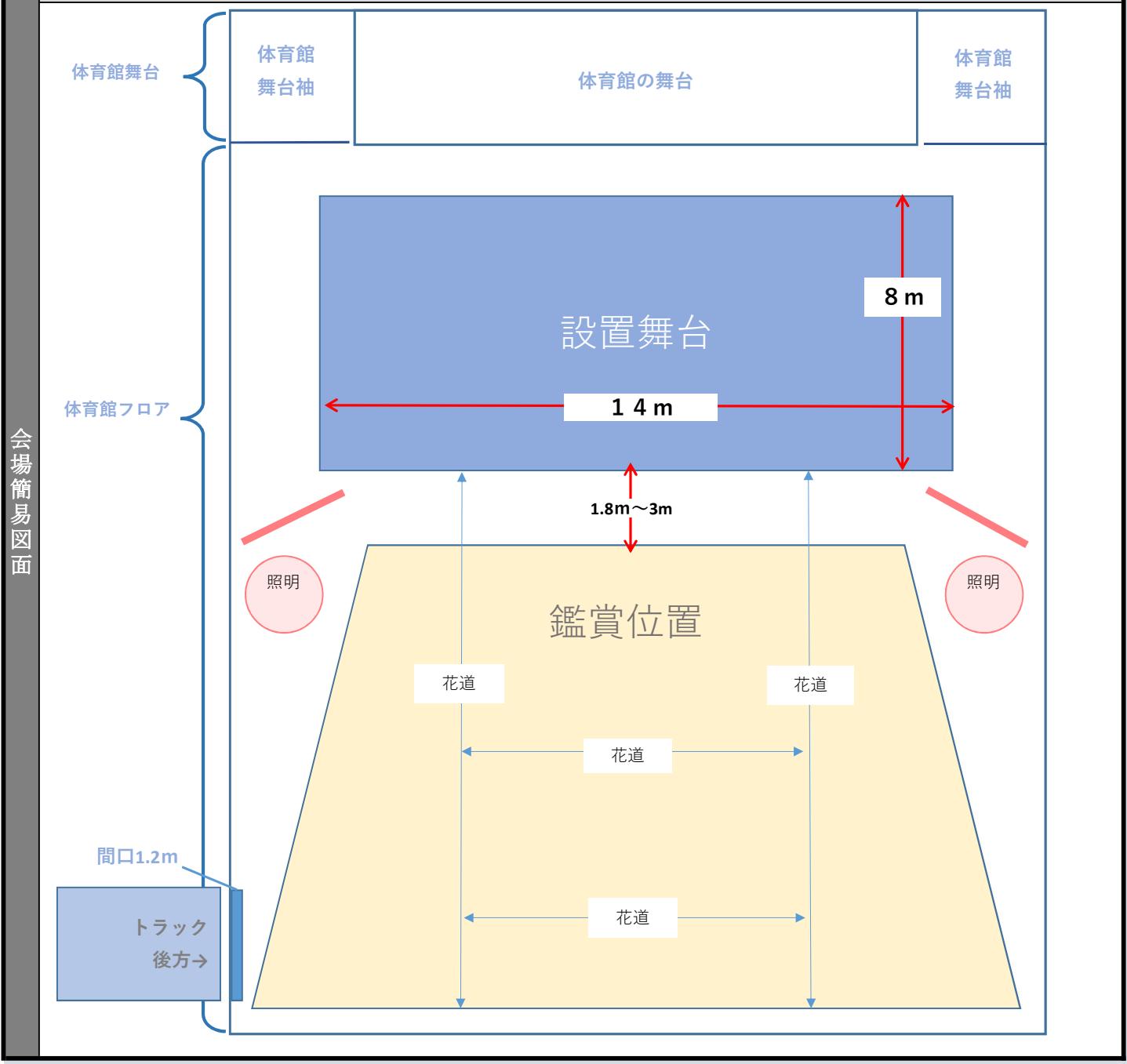
会場図面の提出要否	不要
その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)	間口が極端に狭い場合や経路が特殊な場合には資料の提出をお願いする場合があります。

時間外対応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合については、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。			
	なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。				
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。				
	対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ				
ワークショップ					
本公演 共演、参加又 は体験対象と なる児童・生 徒	45分	本公演の直前	共演のリハーサル		
本公演					

個別確認事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。
		個別ヒアリング事項
	1	
	2	
3		

(任意) 会場条件について最低限必由奈条件がある場合、簡易図面を記載してください。

※搬入に関する条件の詳細については、上記の会場条件欄にて確認してください。



別添

なし

【公演団体名】

株式会社人形劇団むすび座

】

## 【本事業を通じて実現したいこと】

子どもたちは、多種多様な人間と関わりながら育ち、地球環境の変化や人口減少などの課題を抱えた社会の未来を担う存在です。激動・激変する社会で未知の事態に対応していくためには、問題の解決にむけて他者と協働する力が不可欠です。

子どもたちが身に付けていかなければならない様々な能力の源は、目指す未来を思い描き、相手の立場を考える「想像力」に他なりません。

人形劇は「想像力の芸術」です。人間の手で操られた人形に命や表情を見出すことは、受動的な鑑賞だけでなく観客が能動的に芸術へ参加する体験もあります。私たちは人形劇を通じ、子どもの想像力に働きかけ、その力を育みたいと考えています。

AIやCGの台頭により、人は創造力や想像力を駆使せずコンテンツを生み出せるようになりました。また、オンラインの娯楽や交流が日常となった現代の子どもにとって「他者と空間を共有し喜びを分かち合う体験」は希少です。だからこそ、人間の技やチームワークによる人形劇を体感し、子どもが自らの想像力を働かせ楽しむ時間を届けます。

日本では学童期の舞台芸術鑑賞の重要性が十分に認識されておらず、親の意向や家庭の経済状況によりその魅力を知らずに子ども時代を終える子どもが多く存在します。

本事業は、家庭や地域に関わらず等しく質の高い文化芸術に触れられる稀有な機会です。当劇団の人形劇の鑑賞や共演体験によって、舞台表現の新たな一面や表現することの楽しさを知り、文化芸術への関心を広げ深めていくという好循環により、より多くの子どもたちが文化芸術の価値や多様性を享受し、豊かな人生を歩むことを願い、本事業を継続的に申請しています。

## 【上記の実現に向けて、実施の工夫】

上記の目的の達成にふさわしい演目の選定と上演により、子どもたちの想像力を育むとともに、単に「人形劇を観る」だけに留まらない上質な鑑賞体験や共演体験を通して、「人形劇」という分野の舞台芸術の奥深さを伝え、舞台芸術への関心を拡げます。

公演後に感想を聞き、質問に答える時間を設けます。他の児童の感想を聞くと、自分と同じ気持ちの人や、異なる観点をもつ人がいると知ることができます。共感や発見は他者と同じ空間を共有する喜びを呼び起こし、より豊かな学びとなります。

## 【学校との連絡調整について】

## 1)各学校の状況やニーズに合わせたアプローチ

先生方の勉強会や、演劇教育を行う実演家の講座への参加、また、実際に学校現場に出かけて行き、先生方・子どもたちを対象にしたワークショップを数多く実施するなど豊富な経験を生かし、劇団からの押付けにならないように実施校の先生方のご希望やニーズを丁寧にお聞きして事業を実施します。そして本事業を初めて経験するご担当の先生であっても事業の進め方を理解していただけるよう、積極的かつ柔軟にアプローチしていきます。

## 2)趣旨の明示と綿密な打合せ

実施決定後は速やかにお電話でご挨拶をします。その後、写真入りのスタディガイド（ワークの内容・タイムスケジュール・人形の作り方等を記載）をお送りします。事前に先生方と十分に話し合うことで、本事業の目的やワークショップの必要性等を具体的にイメージしていただくことができます。

本公司に出演する俳優・スタッフがワークショップを行います。共演児童は、本番当日に俳優・スタッフと再会し、安心して演じることができます。実務面においても、ワークショップ実施時に当事者が会場の下見や詳細な打合せを行っているため本公司をスムーズに開催する事ができます。

## 【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】

事前の打ち合わせやお電話でのご連絡の際に、実施に際してのご要望などを聞き取り、その際に配慮が必要な子どもの状況についても時間をかけて丁寧に伺い、必要十分な対応を行います。

本公司では体育館に舞台を設置することで日常風景の変化や体育館の暗さに不安感を覚える児童がいることが考えられます。事前に写真や動画資料をお送りしたり公演前に体育館に来てもらうなどの対応を行い、安心して参加できるよう配慮します。

また、聴覚や視覚に困難のある児童がいる場合、学校に事前に台本を送る、補聴器に音を送る、開演前に人形を触って大きさや形を体感してもらうなどの工夫をします。これまでの豊富な実績や経験を活かし、すべての子どもたちが楽しむことができるよう柔軟に対応します。

## 【本公司等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】

\*本公司での想像力の刺激や共生・多様性への理解につながる物語、多彩な表現は、図工や音楽などの芸術教科のみならず、他教科の幅広い学習に影響を与えるものと考えています。

\*劇中で登場したニルスや鳥たちの紹介・物語やテーマに関連する内容・原作本の読書案内などを盛り込み、事後の学習教材としても活用できる「公演プログラム」を作ります。

\*公演後にアクセスできる「学びのページ」を当劇団のホームページ内に設け、動画や写真などのコンテンツにより公演の振り返りや家庭内での共有ができる仕組みを準備します。人形劇に関するコンテンツも掲載し、演劇・造形・表現活動への興味を持続させます。

本事業への応募理由等

事業を適切かつ円滑に実施するための工夫

リンク先

No.2

【公演団体名

株式会社人形劇団むすび座】

妖精の呪いで小さくなるニルス 人形劇ならではの視覚効果を使った表現



様々な表現方法で伝える「命の美しさ」  
ニルスと旅する渡り鳥や大自然を生きる動物の姿を  
想像力を刺激する造形の人形や表現方法で現します



鑑賞後の交流 人形を間近で見て触れ合う心に残る体験

